

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けに取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2 (2)	健康教室に続き、平成26年度には認知症2次予防講座の開催が予定されており、開催終了後には、行政と連携し、その参加者との関係を継続させ、さらなる地域とのつながりの進展に期待したい。	行政と連携しながら健康教室(1次予防)の継続的な実施を行う。また、認知症予防事業(2次予防)の実施と、実施後、参加者の継続的な支援について行政と連携していく。	健康教室(1次予防)については、これまで参加された方へ継続参加のアプローチを行っていく。 認知症予防事業(2次予防)については、開始前から行政と密に連携し、スムーズに参加できるように配慮を行うことと、終了後についても、行政と情報共有しながら、その後の支援について検討していく。	12 か月
2	20 (8)	事業所の周囲だけを地域と捉えるのではなく、入居前の地域との関わりの継続も視野に入れ、馴染みの場所や人がつながる支援を目指している。馴染みの関係の継続とその拡がりある支援に期待したい。	事業所周围の地域だけでなく、利用者の入居前の地域にも目を向け関係(馴染みの場所・人)作りを行う。	より具体的な個別支援を行うために、利用者一人ひとりの価値・こだわり、入居に至るまでの生活や地域を理解できるよう、本人・家族との関わりを密に図り、ヒヤリング等により理解に努めていく。	12 か月
3					か月
4					か月

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。